

Usuda
Souken

2000型空間ディスプレイ「HAB® Mobile」を開発

白田総合研究所株式会社(代表取締役 白田裕)は、携帯電話やモバイル機器に搭載可能な2000型空間ディスプレイ「HAB® Mobile」を開発した。

この新開発 2000 型空間ディスプレイ「HAB® Mobile」は、Windows Mobile 機器のタッチパネルに対応しており、「知能センサー(UBN-800,UBN-200)」を Windows Mobile 機器に USB 接続することにより、2000 インチを超えるパノラマ画像を Windows Mobile 機器の 2 インチ程度の液晶に表示し、自由な画像移動と任意サイズの拡大縮小が可能になる。

今回開発 2000 型空間ディスプレイ「HAB® Mobile」の主な特徴は、

- (1) HAB画像処理をWindows Mobile向けに高速最適化
- (2) HAB画像処理をWindows Mobile向けに10倍電子ズーム化
- (3) HAB画像処理をWindows Mobile用タッチパネルのスクロールに対応
- (4) 知能センサー(UBN-800,UBN-200)のセンサー感度自動変更機能を開発
- (5) 撮影画像のリアルタイム倍率切り替え表示機能を開発

の全てを実行サイズ、わずか約180KB(Windows Mobile 6.1/6.0/5.0用)で実現にした事にある。(図1)

【 新開発 2000 型空間ディスプレイ「HAB® Mobile」外観 】



図1 . 新開発 2000 型空間ディスプレイ「HAB® Mobile」

*HAB®は、ソニー株式会社の登録商標です。

この結果、Windows Mobile 機器を

- (1)「うごかす」動作で、最大1億画素で2000インチ相当の広大な画像を見られる。
- (2)「かざす」動作で、最大1億画素で2000インチ相当の広大な画像を縮小拡大できる。
- (3)「まわす」動作で、最大1億画素で2000インチ相当の広大なパノラマ画像を自由に見られる。

この新しい3つの動作により、**子供から年配者まで**、Windows Mobile 機器を楽しく、直感的に操作できるようになる。

また、今回開発の新機能として、Windows Mobile 機器の内蔵カメラで撮影した各種サイズのデジタル写真をサイズ変更することなくそのままのサイズで表示可能とするとともに、電子ズーム機能を使用することにより、デジタル写真を約10倍までリアルタイムに倍率変更しながら、見ることができる。(図2)

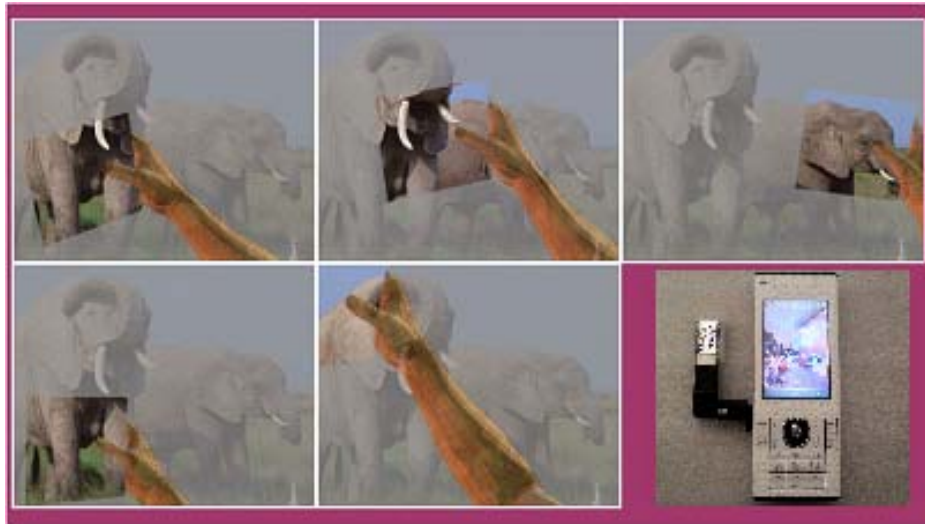


図2 . 操作方法概念図

なお、本件は、2009年2月27日に東京 虎ノ門パストラルにおいて開催される MCPC (モバイルコンピューティング推進コンソーシアム) 主催 第13回「イノベーションチャレンジ」において発表を予定している。

[新製品概要] 2000型空間ディスプレイ「HAB® Mobile」仕様

第1表 HAB® Mobile 仕様	
商品名	HAB® Mobile
品番	HAB-M100
OS	Windows Mobile 6.1, 6.0, 5.0
USB I/F	USB2.0,1.1 ホスト機能必須
実行サイズ	約180KB
画像形式	JPEG, BMP, GIF, PNG
ズーム倍率	倍率1.0~10.0までの無段階設定
知能センサー	UBN-800, UBN-200対応
センサー感度	LEVEL1~11までの任意設定

この件に関するお問い合わせ

白田総合研究所株式会社 代表取締役 白田 裕

TEL : (03) 5443 - 4125 FAX : (03) 5444 - 4125

E-mail : info@usudasouken.com

All Rights Reserved by Usuda Research Institute & Systems Corporation, Limited.

3-3-12 MITA MINATO-KU, TOKYO 108-0073 TEL:03- 5443-4125, FAX:03- 5444-4125, <http://usudasouken.com>

*HAB®は、ソニー株式会社の登録商標です。